

T20250630_01_DellOroI

仮想ブロードバンドネットワークゲートウェイ市場、CAGR 31%成長

Dell'Oro Group が新たに発表した仮想ブロードバンドネットワークゲートウェイ Virtual Broadband Network Gateway(vBNG)Advanced Research Report によると、vBNG プラットフォームの世界総収益は 2025～2030 年にかけて CAGR 31%で成長すると予想されている。オペレータは、サブスクリバとセッションの管理をさらに分散し、コントロールプレーンとユーザプレーン機能を分離することを検討している。

「ブロードバンドサービスプロバイダは、ハードウェアベースの BNGs から、より仮想化されたクラウドネイティブアーキテクチャへと移行し続けている。これにより、サービスをより迅速に拡張し、エッジコンピューティング機能を追加し、ネットワークとサービスのコンバージェンスをより迅速に実現できる」と、Dell'Oro Group の VP Jeff Heynen はコメントしている。

「vBNGsと CUPS(Control and User Plane Separation)アーキテクチャは、サービスプロバイダに大きなメリットをもたらし、アーキテクチャの柔軟性、統合された機能セット、新機能の開発スケジュールの短縮、加入者、トラフィック、サービスの成長に合わせた拡張能力により、ますます導入が進んでいる。」

Virtual Broadband Network Gateway Advanced Research Report のその他のハイライト:

- 2030 年に購入される新しい BNG 加入者ライセンスの約 48%は、統合エッジ ルータ BNGs で取得される。それにもかかわらず、このシェアは 2023 年のピーク時の 94%から減少している。
- 加入者ライセンスからの収益は、BNG と vBNG を合わせた市場全体の収益の大部分であり、追加の機能が導入されるにつれて、保守およびサポートの収益は徐々に増加すると予想される。